

仕事・職業について調べる

※本の題名の下に、その本がある場所とラベルの番号が載っています。
こどもとしょしつは図書館の1階、人文科学コーナーは2階です。



調べるためのキーワード

図書館のパソコンで調べるとき、このキーワードを入力して調べてみてください。

仕事 働く 職業 将来 就業 資格 就職活動 会社 業界
適職 ビジネス 労働 進路 その他業種名や業界名など
検索するときは略語ではなく正式名称のほうがヒットしやすいです

本の背表紙にはってあるラベルの、一番上の数字から本の場所を探すことができます。



〔 伝記：280 経済：330 社会・労働：360 など 〕

？ 本のコピーはどこでとれる？

白黒コピー 1枚10円：1階新聞・雑誌コーナー 2階人文科学コーナー 2階複写センター
カラーコピー 1枚60円：2階複写センター



図鑑・事典で調べる

※ラベルに「R」がついている本は貸出できません。

『進路・将来を考える』（佐藤 理絵監修、日外アソシエーツ、2016年）

こどもとしょしつ内児童図書研究室（J028／サ）

サブタイトル「中高生のためのブックガイド」。各教科や部活動から、職業や進学、受験術など、中高生向けに役立つ本が609冊紹介されています。

『ヤングアダルトの本 職業・仕事への理解を深める4000冊』（日外アソシエーツ株式会社編、日外アソシエーツ、2011年）

こどもとしょしつ内児童図書研究室（キJR366／ヤ）

進路や職業を選ぶときに参考になる職業・資格に関する本が約4000冊紹介されています。

『資格取り方選び方全ガイド』(高橋書店編集部編, 高橋書店, 2016年)

人文科学コーナー (R366.2/シカ/2018)

たくさんの資格が紹介されています。人気の資格のメリットデメリットや、取得のための受験日カレンダーなども充実しています。



本で調べる

《仕事の本殿堂入り》

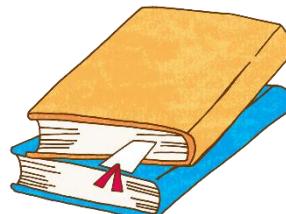
『なるにはBOOKSシリーズ』(ペリカン社)

こどもとしょしつ (366/ナ)

メインシリーズ『〇〇になるには』では、技術系、医療系、芸能系など140種以上の多様な職業について、仕事の解説、就業のための道筋や資格、関連する養成機関がまとめられています。なりたい仕事がある程度決まっている人は、このシリーズを読めば、基本を押さえることができます。

補巻シリーズ『〇〇と働く』では、『動物と働く』『森林で働く』など、特定の業界の関連職業を多く紹介しています。

別巻シリーズでは、『今からはじめる！就職へのレッスン』『「知っておきたい！働くときのルールと権利』など具体的に就活を意識した人におすすめです。



《働くってどんなこと？》

『百年のしごと』(塩見 槟著, 東京書籍, 2013年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T335/シ/G)

100年に渡って続いている老舗の社長さんたち20人の、会社への想いが書かれています。

水戸元祖天狗納豆さんも掲載されています。

『14歳からの仕事道 増補改訂』(玄田 有史著, イーストプレス, 2011年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366/ゲ)

仕事をして生きていくとはどんなことか、「ちゃんといいかげん」に生きるコツが、わかりやすく紹介されています。将来仕事をすることに不安を感じている人にも。

『大人はどうして働くの？』(宮本 恵理子編, 日経BP社, 2014年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366/ミ/G)

7人の著名人が「どうして働くの」かについて書いています。前半が分かりやすく書かれた子ども編、後半が大人編になっています。

『就活のまえに』(中沢 孝夫著, 筑摩書房, 2010年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366/ナ)

良い仕事や良い職場とはどんなことか、働くとはどんなことかを、分かりやすく説明しています。

就活に不安を感じている人におすすめの本です。

『働く！「これで生きる」50人』(共同通信社編, 共同通信社, 2014年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366/ハ/G)

様々な仕事をしている50人の、仕事への想い、仕事についたきっかけ等が紹介されています。

2013年に共同通信社が連載した記事を、1冊にまとめてあります。

『最高齢プロフェッショナルの教え』(徳間書店取材班著、徳間書店、2010年)

人文科学コーナー (366. 2/サイ)

『最高齢プロフェッショナルの条件』(徳間書店取材班著、徳間書店、2012年)

人文科学コーナー (366. 2/サイ)

88歳のパイロット、90歳のDJ…いろいろな職業の現役「最高齢」の人々へのインタビューです。その生き様や仕事に対する姿勢などに触れることができます。

『プロフェッショナル仕事の流儀』1~22 (茂木 健一郎編、日本放送出版協会)

人文科学コーナー (366. 2/モギ/1~22)

2006年から放送されている同名のNHKのドキュメンタリーパン組を本にしたもの

様々な業界の第一線で活躍する人々が、インタビュー形式で仕事について語っています。

《いろいろな仕事を知りたい！》

『あこがれ仕事百科』(NHKラジオ第1「きらり10代！」製作班編、実業之日本社、2006年)

こどもとしょしつ (366/A/G)

NHKラジオの番組で放送された、北海道から九州までの79人の仕事人たちの

インタビューです。仕事に取り組む人々の本音が詰まっています。

『医療・福祉の仕事 見る知るシリーズ』(WILLこども知育研究所編、保育社)

こどもとしょしつ

「看護師」や「理学療法士」など、医療や福祉関係の仕事を紹介しているシリーズです。

1日の仕事スケジュールを、たくさんの写真で紹介しています。働く場所ごとの違いや、
その仕事に就くための方法や給料、必要な資格のとりかたも。

『会社のしごと』1~6 (松井 大助著、ペリカン社)

こどもとしょしつ (366/M/1~6)

「売る」「つくる」「考える」「支える」「そろえる」「取りまとめる」の全6巻。

それぞれの仕事をしている人へのインタビューが中心ですが、ファッションや暮らししぶりなども書かれていて分かりやすいです。営業、宣伝、販売など、業務で分けられているのもポイントです。

『キャリア教育支援ガイド お仕事ナビ』1~11 (お仕事ナビ編集室編、理論社)

こどもとしょしつ (366/O/1~11)

ゲームや医療など、業界ごとに11巻まで出版されています。1巻につき5人の仕事について、仕事場の様子や7つ道具などが紹介されています。写真や図表が多いので、雰囲気をつかみやすいです。

『しごと場見学！』シリーズ (ペリカン社)

こどもとしょしつ

シリーズで30冊出版されています。私たちの暮らしで利用する施設や場所を舞台に、そこで仕事をしている人々を紹介しています。普段何気なく利用している所の「中の人」を知ることができます。

『仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場64』(朝日中学生ウィークリー編集部編、朝日学生新聞社、2014年)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366/S/G)

新聞『朝日中学生ウィークリー』の連載をまとめた本です。働く大人のリアルな現場を紹介しています。その仕事に就くための資格や、収入も書かれています。

『新13歳のハローワーク』(村上 龍著, 幻冬社, 2010)

こどもとしょしつ (366／ム)

500以上にわたる職業が紹介されています。教科や好きなことなどから関連職業を知ることができます。

『中学生・高校生の仕事ガイド 2017-2018年版』(進路情報研究会編, 桐書房, 2016)

こどもとしょしつティーンズコーナー (T366／チ／2017-G)

30のジャンルごとにたくさんの仕事が紹介されています。仕事ごとの情報量は少ないですが、毎年出版されるので、新しい職業や資格のことも知ることができます。

『職業ガイドナビ』1~3 (ヴィットインターナショナル企画室編, ほるぷ出版, 2010年)

人文科学コーナー (366.2／シヨ／1~3)

240種類の職業を、3巻に分けて紹介しています。こどもとしょしつにある『知りたい!なりたい!職業ガイド』とリンクしているので、興味をもった職業についてさらに詳しく調べることができます。

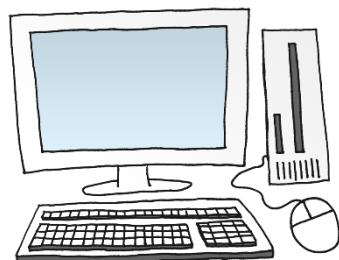


Webで調べる

「就職MAP茨城版」(一般社団法人茨城県経営者協会)

URL : <http://www.shumap.jp/>

茨城県内にある様々な会社の情報をることができます。



「Edutownあしたね」(東京書籍)

URL : <https://ashitane.edutown.jp/>

いろいろな仕事をしている人へのインタビューが掲載されています。好きなことから関連業種のフローチャートを見ることができます。

「13歳のハローワーク 公式サイト」(株式会社トップアスリート)

URL : <http://www.13hw.com/home/>

本でも紹介した、『13歳のハローワーク』のサイトです。

分野や好きなことから職業を調べたり、専門家のインタビューを読んだりすることができます。

インタビューの様子を、動画で見ることもできます。



足を運んでみる

「就職イベント・就活セミナー」

ジョブカフェいばらきHP (<https://jobcafe.pref.ibaraki.jp/>) では、茨城県内の就職イベントや、ジョブカフェ主催の就活セミナー情報が掲載されています。ビジネスマナーや書類対策など、無料で教えてもらうことができます。

